

TRY! YAMANASHI!



— 山梨は、挑戦と近い。未来と近い。 —

山梨県の概要と 実証実験サポート事業について

2024.2.14(水) @豊洲の港から

山梨県 知事政策局 リニア未来創造・推進グループ

自己紹介



山梨県 知事政策局 リニア未来創造・推進グループ 政策補佐 齊藤 浩志

2018年から3年間は産業労働部にて、(一社)Mt.Fujiイノベーションエンジンとともに10年目を迎える「Mt.Fujiイノベーションキャンプ」や高校生向けアントレプレナーシッププログラムを担当

2021年からは現所属にて、「山梨は挑戦と近い。未来と近い。」をテーマにスタートアップに実証実験の場を提供する「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」等を実施するなど、「スタートアップフレンドリー・やまなし」を掲げて活動中

※2年間の茨城県庁勤務、3年間の東京事務所勤務の経験あり

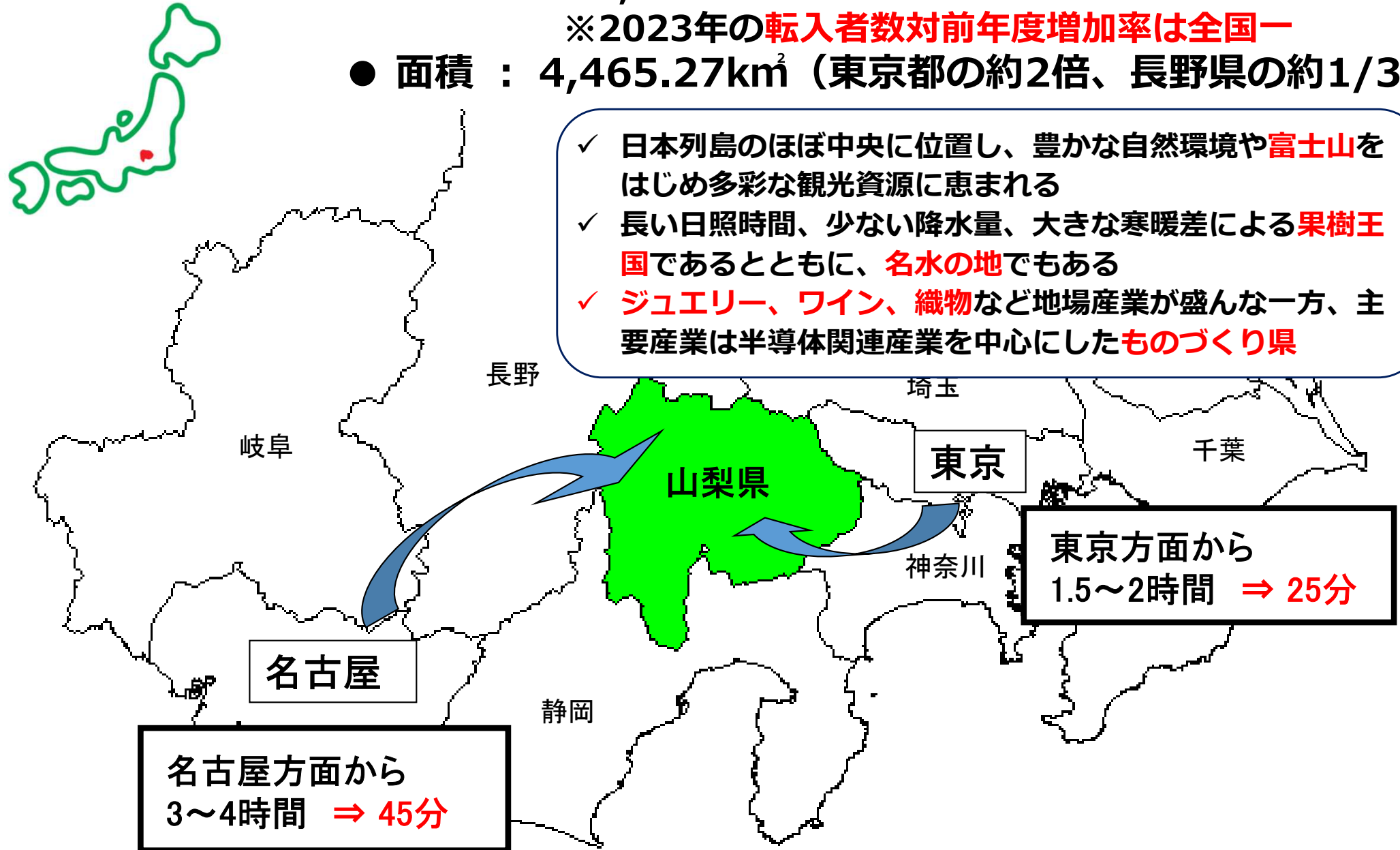


山梨県の概要

日本列島の**ほぼ中心に位置**する海なし県

- 人口：794,745人（2023年12月1日現在）
※2023年の**転入者数対前年度増加率は全国一**
- 面積：4,465.27km²（東京都の約2倍、長野県の約1/3）

- ✓ 日本列島のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境や**富士山**をはじめ多彩な観光資源に恵まれる
- ✓ 長い日照時間、少ない降水量、大きな寒暖差による**果樹王国**であるとともに、**名水の地**でもある
- ✓ **ジュエリー、ワイン、織物**など地場産業が盛んな一方、主要産業は半導体関連産業を中心にした**ものづくり県**



山梨県の概要

統計でみる山梨県の日本一

ぶどう・もも・すもも収穫量、ワイナリー数、
日本ワイン生産量、ミネラルウォーター出荷額、
貴金属製品製造事業所数、数値制御ロボット出荷額、
図書館数、1日の平均食事時間

標高



第1位 3,776m(富士山)
第2位 3,193m(北岳)
第3位 3,190m(間ノ岳)

国土地理院ホームページ

日照時間



令和3年度
第1位 2,319.5時間(年間)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

多目的運動広場数(公共)



平成30年度
第3位 165.7施設(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

ミネラルウォーター生産量



令和3年
第1位 1,583kℓ

日本ミネラルウォーター協会統計資料

ワイナリー数



令和3年
第1位 92事業所

酒類製造業及び酒類卸売業の概況

日本ワイン生産量



令和3年度
第1位 4,856kℓ

酒類製造業及び酒類卸売業の概況

ぶどう生産量



令和4年
第1位 40,800t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

もも生産量



令和4年
第1位 35,700t(年間)

作物統計調査(農林水産省)


すもも生産量



令和4年
第1位 5,940t(年間)

作物統計調査(農林水産省)


貴金属・宝石製装身具(ジュエリー)製品製造事業所数



令和3年
第1位 106事業所

令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)


数値制御ロボット出荷額



令和2年
第1位 2,575億円

令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

半導体・IC測定器出荷額



令和2年
第3位 667億円

令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)


中学校修学旅行先



令和2年度
第2位 46件

全国修学旅行調査(日本修学旅行協会)


転入者数対前年増加率



令和3年
第1位 13.2%(人口10万人当たり)

住民基本台帳人口移動報告2021(総務省統計局)


健康寿命



令和元年
第2位 73.57年(男性)
第2位 76.74年(女性)

厚生科学審議会第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会(厚生労働省)

高齢就業者割合(65歳以上)(対65歳以上人口)



令和2年度
第2位 29.8%

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

保健師数



令和2年度
第3位 80.2人(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

1日の食事時間



令和3年
第1位 1時間45分

令和3年社会生活基本調査(総務省統計局)

ぶどう支出金額



令和元年～令和3年平均
第1位 7,267円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

もも支出金額



令和元年～令和3年平均
第2位 3,301円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

マグロ支出金額



令和元年～令和3年平均
第2位 8,663円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング


焼き鳥支出金額



令和元年～令和3年平均
第2位 3,585円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

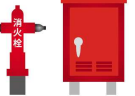
着工新設持ち家比率(対着工新設住宅戸数:マイホームを新しく建てる率)



令和3年度
第3位 63.7%

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)


消防水利数



令和3年度
第2位 3,821.2所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

コンビニエンスストア数



平成26年度
第2位 33.3所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

図書館数



平成30年度
第1位 64.9館(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

青少年教育施設数



平成30年度
第3位 17.1所(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2023(総務省統計局)

山梨県の地勢

3,000m級の山々に囲まれた山紫水明の地

主な山

日本の高い山トップ3が山梨にあります。



富士山 3,776m

(標高)

駒ヶ岳 2,967m

(標高)

赤岳 2,899m

観音ヶ岳 2,841m

薬師ヶ岳 2,780m

地蔵ヶ岳 2,764m

鳳凰三山

資料:国土地理院

北岳 3,193m

間ノ岳 3,190m

仙丈ヶ岳 3,033m

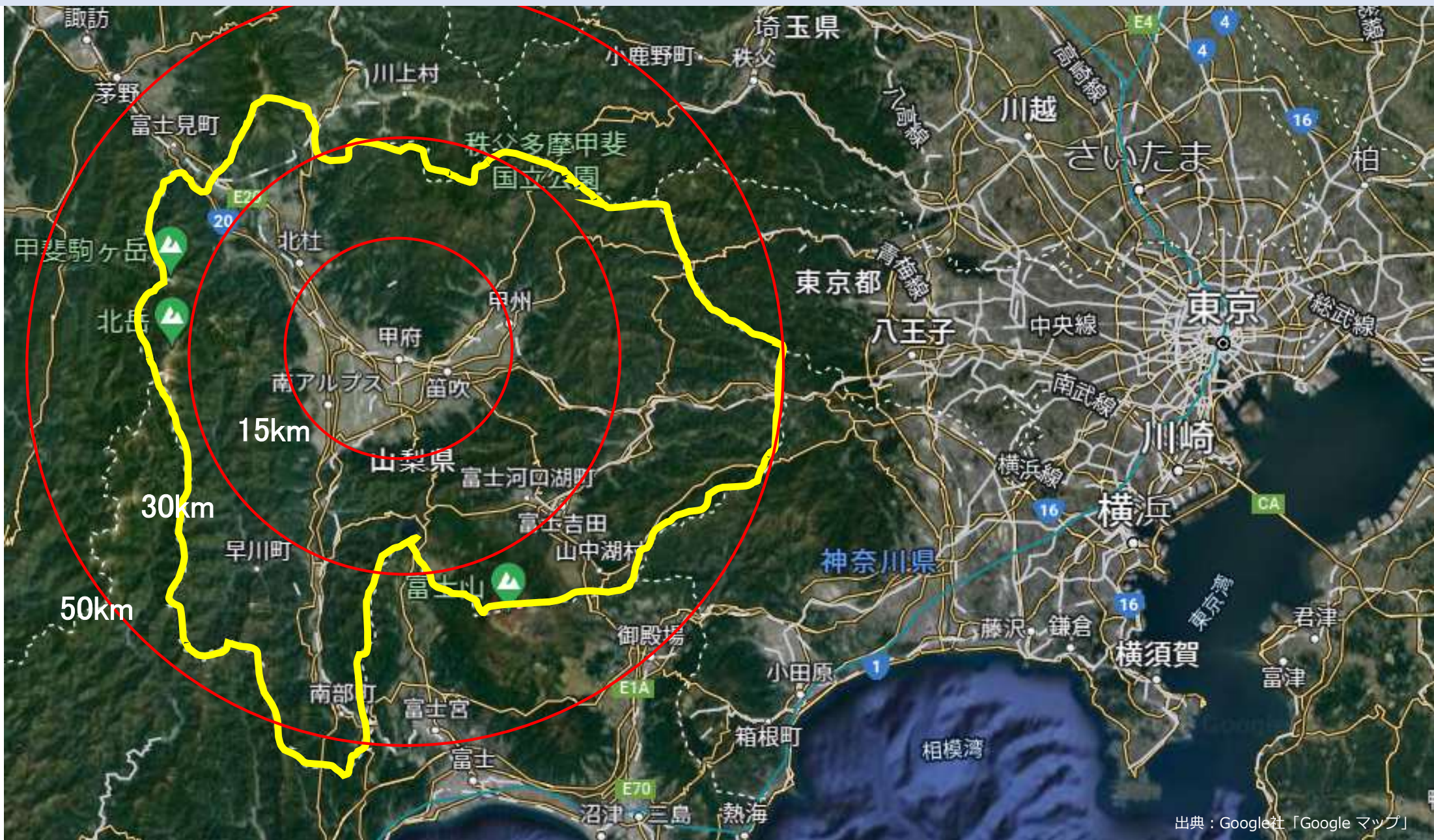
農鳥岳 3,026m

白根三山



山梨県の地勢

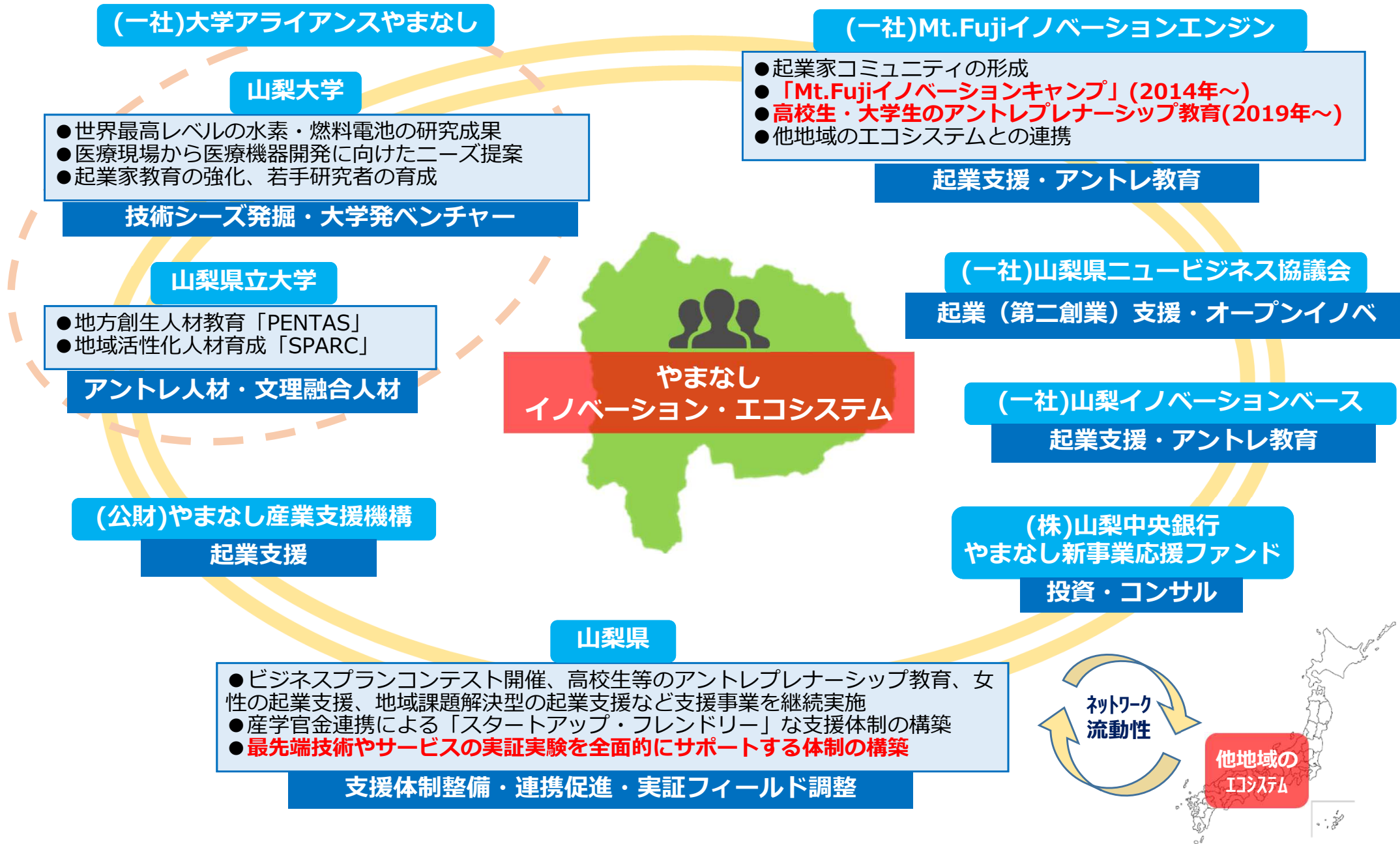
半径約50km円におさまる**コンパクトな盆地**



出典：Google社「Google マップ」

山梨県のスタートアップ・エコシステム

各プレイヤーの顔が見えるハンズオン支援体制



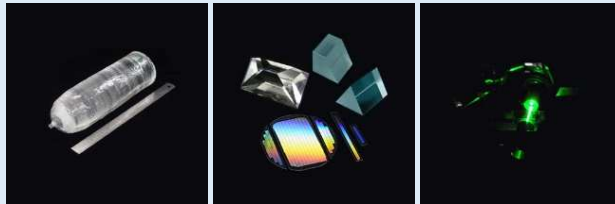
山梨県から生まれたスタートアップ

ディープテック(ものづくり)から教育、アート×デジタルからSDGsまで

(株)オキサイド 【2021.4.5東証マザーズ上場】

- 物質・材料研究機構発の研究開発型ベンチャーで、半導体製造装置向け「光学単結晶」の**世界シェア95%**
- 光学単結晶の製造・開発のほか、単結晶を利用したデバイスやモジュール、レーザ製品を製造
- 経産省「**グローバルニッチトップ100選**」、Fobes JAPAN「**SMALL GIANTS AWARD**」**グランプリ**

OXIDE



(株)スクーミー 【2020Boostクラス・1位】

- 「**子どもたちの学びと世界をつなげる**」をビジョンに掲げる、山梨発の教育系スタートアップ
- センサーをつなぐだけで、誰でも簡単にテクノロジーを活用できることができる**小型コンピューター「スクーミーボード」を開発**
- 旺文社と協業して、「スクーミーボード」を使って身の回りの課題を解決する「**課題解決チャレンジカップ**」を開催

SchoMy®
キミは、どんなミライをつくる？



アルステクネ(株) 【2016始動部門・優秀賞】 アルステクネ・イノベーション(株) 【2019協創部門・最優秀賞】

- 20億画素を超える高精細デジタル化・複製技術を有し、**仏・オルセー美術館から複製に係る世界初・唯一の公式認定**を受ける
- 県立博物館所蔵の**葛飾北斎「富嶽三十六景」の高精細レプリカを製作**し、NTT東日本と協業して浮世絵の制作過程をひも解く体験展示を展開
- 本社は調布だが、2018年に甲府に関連会社を設立



(株)コークッキング 【2017協創部門・最優秀賞】

- 日本のフードロス解消のため、飲食店の余剰食材と消費者をマッチングさせる**フードシェアリングサービス「TABETE」を展開**
- 登録者数は10万人を超え、**週刊東洋経済の「すごいベンチャー100」に選出**されるなど注目度が高い
- 2018年に都内へ移転したものの、今後新たな事業を県内で展開する可能性



リニア中央新幹線の概要

東京・品川から約25分、名古屋から約45分

沿線地域の
取り組み

リニアのインパクトを活かす、
沿線地域のまちづくり。

奈良県



平城宮跡大極殿

奈良県は、中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す歴史文化遺産や世界遺産を多く有しています。
リニア中央新幹線は、新しい国土軸として、人々の交流を飛躍的に拡大し、奈良県の観光、文化、産業等の発展に大きく寄与します。
奈良県においては、三重・奈良・大阪ルートと併走したルートと「奈良市付近」駅の早期確定及び一日も早い全線開業を目指した取り組みを推進しています。

岐阜県



中山道馬籠宿

リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に波及させるため、県内全市町村、観光団体、経済団体及び有識者で構成する「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」において、観光振興・まちづくり、産業振興、基盤整備の3つの観点からの地域づくり戦略である「リニア活用戦略」を策定し、活用戦略の具体化に向けた取り組みを進めています。

長野県



伊那谷と南アルプス

本県の南の玄関口となる伊那谷は、中央アルプス、南アルプスに囲まれ、日本で唯一、2つのアルプスを眺めることができ、四季折々の豊かで美しい自然に恵まれた地域です。
長野県では、リニア中央新幹線開業を見据えた地域づくりの指針として、「長野県リニア活用基本構想」、「リニアパラー構想」を策定し、リニアの整備効果を、経済の活性化、交流人口の拡大などに結び付け、県全域の地域振興につなげるための取り組みを進めています。

山梨県



富士山と桃の花

リニア中央新幹線の開業を契機に、本県が国内外の多くの皆様の目的地として選ばれるものとなるよう、「リニアやまなしビジョン」を策定し、テストベッド(実証実験の場)の暫定化などの取り組みを進めています。
また、県内全域にリニアの開業効果を波及させるため、道路整備によりリニア駅と県内各地との移動時間を短縮するほか、リニア駅と県内の主要拠点を結ぶバス交通の整備を目指すなど、アクセスの向上に取り組んでいます。

東京都



品川駅周辺の街並み

リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅周辺地域では、羽田空港の国際化等を契機に、国内外の広域交通の拠点性を強化し、魅力ある業務、商業、研究、交流、宿泊、教育、文化などの多様な機能が集積する新たな国際交流拠点を形成します。

大阪府



2025年万博大阪・関西に決定国を挙げた誘致活動を展開してきた2025年日本万国博覧会の大阪開催が決定されました。これを契機として、大阪・関西へさらなる訪問客の増加を促し、リニア中央新幹線の全線開業へとつなげることで、わが国のさらなる成長・発展が期待されます。
リニア中央新幹線が、わが国の経済成長や国土の強靱化に大きく寄与するという観点から、自治体・経済界とともに、早期全線開業の実現に向けた取り組みを進めています。

三重県



伊勢神宮宇治橋

三重県は、古来、日本書紀に「美し(うまし)国」と記されているように、風光明媚で、豊潤な土地柄、食材にも恵まれた地域であるとともに、中部圏と近畿圏の中間に位置しています。
リニア中央新幹線の開業により、県域を越えた広域的な交流・連携が一層進み、産業や観光などの発展に大きく寄与することが期待されます。
三重県では、三重・奈良・大阪ルートと併走したルートと亀山市内駅位置の早期確定及び一日も早い全線開業に向けた取り組みを進めています。

愛知県



名古屋駅周辺の街並み

リニア中央新幹線の開業により、一層高まる当地域のポテンシャルを最大限に発揮していくため、名古屋都心部の高次都市機能の集積を固め、拠点性を高め、圏域内の活力ある主要都市が役割を分担しつつ連携する多様連携型の都市構造を維持・強化していきます。そのための基盤として、鉄道の利便性向上などにより名古屋駅から大都市圏内主要都市への40分交通網の拡大を図るとともに、高速道路網の整備や活用を進めています。

静岡県



富士山と茶畑

静岡県にとって、リニア中央新幹線の整備は、東海道新幹線の活性化につながります。すなわちリニア中央新幹線の開業後は、「のぞみ」機能がリニアに移ることになり、「ひかり」と「こぞま」の増発・増停車により、静岡県内からの東西への移動がはるかに促進されます。また、沿線地域はもとより、県内全域の活性化が期待されます。

神奈川県



神奈川駅周辺の街並み

リニア中央新幹線神奈川駅設置にあわせ、誰もが降りたくする駅、魅力あるまちづくりを進め、全国との交流・連携の窓口となる「北のゲート」を形成します。
また、「南のゲート」の核となる東海道新幹線新駅の誘致や、南北のゲートを繋ぐ交通網の強化により、多様な交通ネットワークの充実を図ることで、リニア中央新幹線の整備の効果を県全体に波及させていきます。

リニア中央新幹線(品川・名古屋間)の概要

中央新幹線(品川・名古屋間)工事実施計画(その1)(平成26年10月認可)及び
中央新幹線(東京部・名古屋間)連続設計開発費(平成26年8月)を基に作成

路線延長	285.6km (構造物種別) トンネル:246.6km(約86%) 高架橋:23.0km(約8%) 横りょう:11.3km(約4%) 路盤:4.1km(約2%) (山梨リニア実験線を含む)
車両基地	関東車両基地(仮称)(神奈川県相模原市緑区鳥居) 中部総合車両基地(仮称)(岐阜県中津川市千旦林)
付帯施設	充電施設:10箇所 保守基地:8箇所(保守用車留施設含む) 非常口(都心部):首都圏9箇所 中部圏4箇所 非常口(山間部):3箇所
総工事費	5兆5,235億円(※)
所要時間	40分

(※)JR東海は、令和3年4月27日に品川-名古屋間の総工事費について、約1兆5,000億円の削減となることを発表。

リニア中央新幹線各駅間の距離

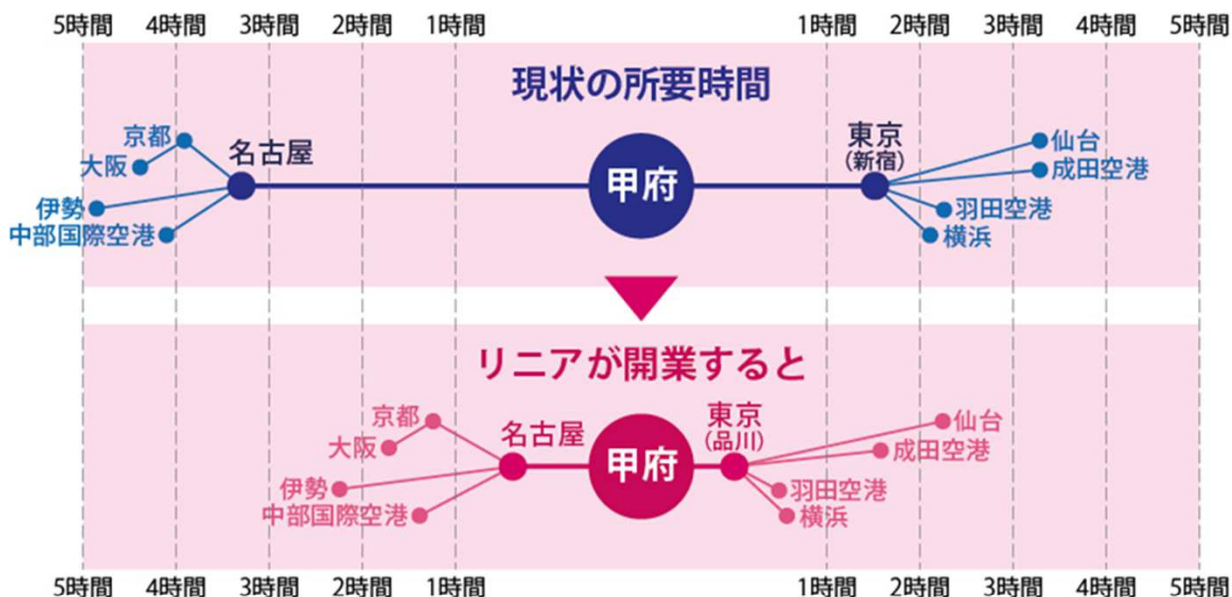
都駅	①品川駅	②神奈川県(仮称)駅	③山梨県(仮称)駅	④長野県(仮称)駅	⑤岐阜県(仮称)駅	⑥名古屋駅
	タミナル駅(地下)	中部駅(地下)	中部駅(地上)	中部駅(地上)	タミナル駅(地下)	タミナル駅(地下)
駅位置	港区港南 (東海道新幹線品川駅地下)	相模原市緑区橋本 (JR橋本駅付近)	甲府市大津町字入田	飯田市上郷飯沼	中津川市千旦林字坂本	名古屋市中村区名駅 (東海道新幹線名古屋駅地下)
起点からの距離	0km	約38km	約110km	約180km	約220km	約286km
終点からの距離	約286km	約248km	約176km	約106km	約66km	0km

中央新幹線(品川-名古屋間)工事実施計画(その1)(平成26年10月認可)を基に作成

リニア開業により期待される効果

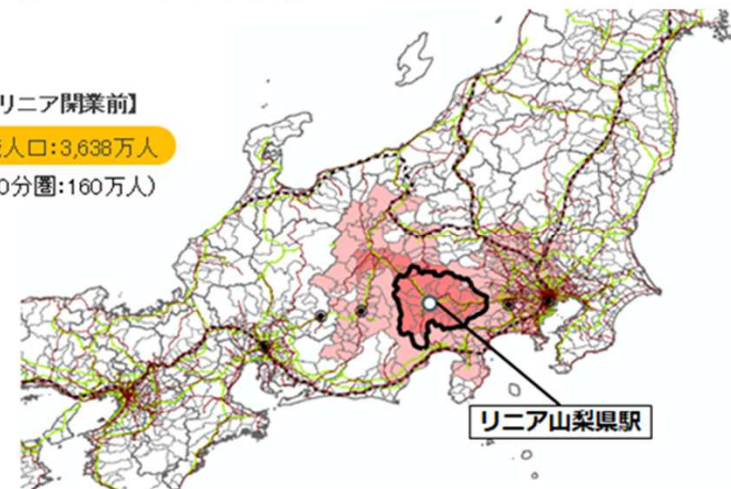
東京・品川25分、名古屋45分という**劇的な時間短縮**

〔リニア開業による時間距離の短縮〕

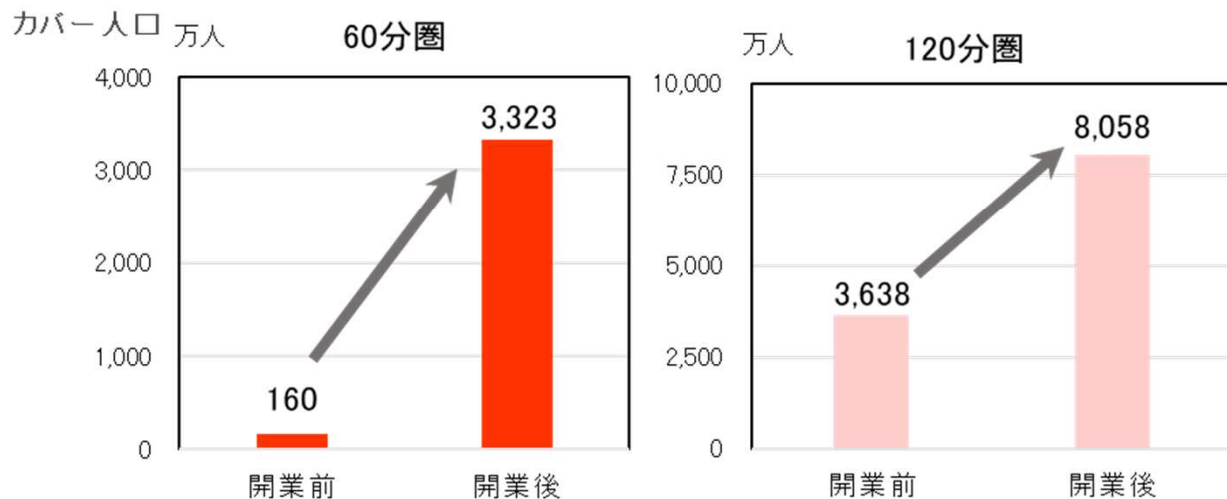


【リニア開業前】

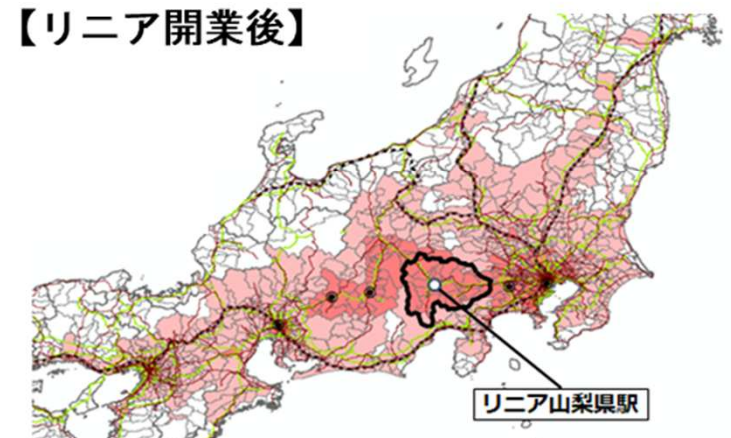
【リニア開業前】
圏域人口:3,638万人
(60分圏:160万人)



〔交流可能な経済的勢力圏の広がり (60分圏、120分圏)〕



【リニア開業後】



○策定の趣旨

- ・リニア開業は大きな転換点であり、県内経済にとってまたとないチャンスであるが、受け身の姿勢でいれば、ただの通過点となってしまう
- ・目的地として選ばれるための理由づくりが必要であり、山梨百年の計として、千載一遇のチャンスを掴み取り、確実に山梨に富を呼び込むため、リニアがある山梨が目指す姿を示し、その実現に向けた基本的な指針として策定

○リニア開業により期待される効果

◇劇的な時間短縮

- ・東京都心から約25分、名古屋から約45分で結ばれ、国際空港からのアクセスも格段に向上

◇スーパー・メガリージョン構想における4つのインパクト

- ① 新たなイノベーションを生み出すフェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションの機会の増加等によるイノベーションの創出
- ② 暮らしに多様な選択肢がもたらされる働き方や暮らし方を制約する時間と場所からの解放によるライフスタイル等の変化
- ③ 海外からの魅力向上に繋がる新たなライフスタイルの実現等による海外へのアピール・外国人旅行者の地方への誘客促進
- ④ 高速交通ネットワークの多重性・代替性を強化する国土の骨格に関わる高速交通網の多重性・代替性強化による持続的な人・モノの流れの確保

○目指す姿と実現に向けた取り組み

◇リニアがある山梨が目指す姿

テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創るオープンプラットフォーム山梨

様々な地域課題の解決に繋がる「**テストベッド**」の提供を突破口に、**国内外の優秀な研究者等が結集し、新たな産業の創出、関連産業の集積や研究開発機能の拠点の形成により「稼ぐ力」を生み出しつつ、世界に先駆けて新たな価値を創造する近未来の窓口**としての地位を確立し、**オープンプラットフォームで世界に貢献している山梨**を目指す

※「テストベッド」とは実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う“場”のこと

◇目指す姿の実現に向けて取り組む施策

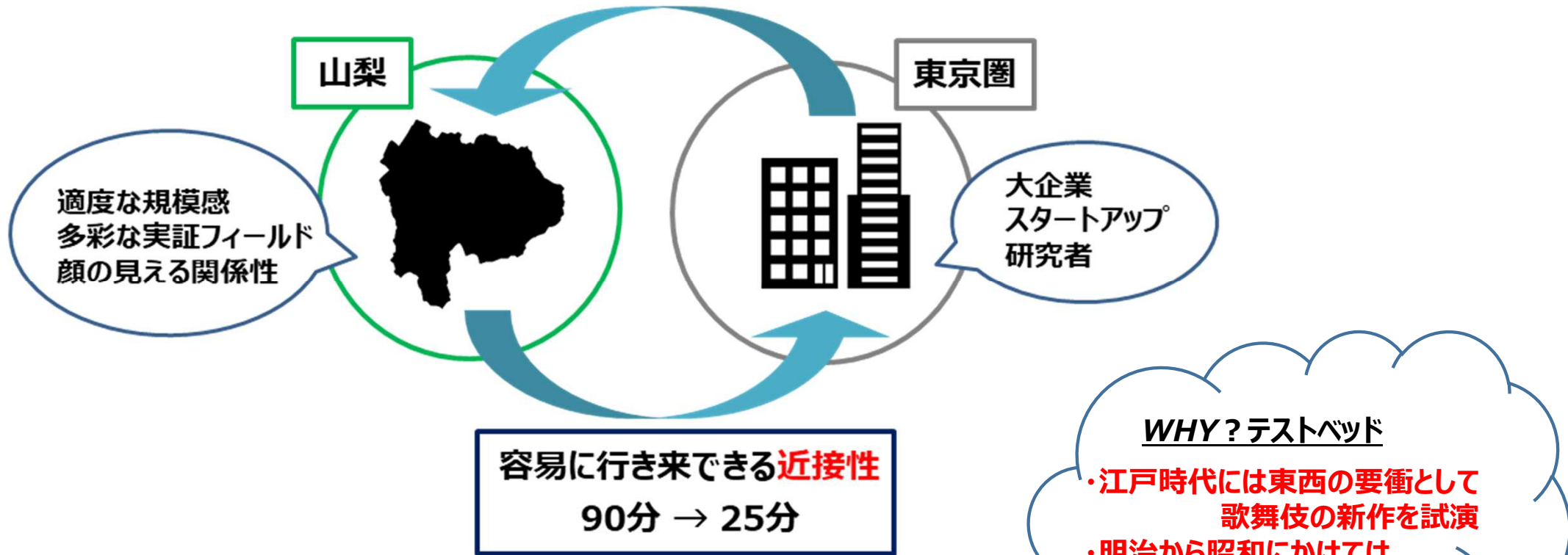
施策：地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

リニア開業を待たずに、地域特性を活かした実証実験が盛んに行われる環境づくりを進め、次世代を拓く才能豊かな人材の交流を生み出し、新たなイノベーションが創発される「**テストベッドの聖地**」としての地位を早期に確立し、国内外に向けて強力に情報発信していく山梨への転換を図ることで、更に有能な人材の対流を山梨で惹起し、その先に見据える**関連産業や研究開発機能の集積の原動力となる好循環サイクルの構築**によって、**県内の良質な雇用の拡大、県民所得の向上**に繋げていく

テストベッドの聖地化

東京・品川から**25分**という容易に行き来できる**近接性**

山梨県のテストベッドとしての優位性



WHY? テストベッド

- ・江戸時代には東西の要衝として歌舞伎の新作を試演
- ・明治から昭和にかけては「甲州財閥」と呼ばれる経済人たちの高い先見性

地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

テストベッドの分野

● 本県の強み

クリーンエネルギー

世界最高レベルの水素・燃料電池関連技術を駆使して、CO2フリー水素社会の実現に貢献



- ・水素の製造・貯蔵・利用の一气通貫した技術の実用化
- ・大幅なコスト削減に向けた研究開発の加速化
- ・世界に先駆けて水素社会を実装するモデル都市の形成

● 生活の質の向上や地域課題の解決



ライフサイエンス



スマート農業



無人配送



陸上養殖



次世代モビリティ



自然環境保護・野生鳥獣管理

TRY!YAMANASHI! 実証実験サポート事業

第5期までに**35件**のプロジェクトを**オール山梨の支援体制**でサポート

山梨は、
挑戦と近い。
未来と近い。

第4期実証実験 サポート事業

TRY! YAMANASHI!



山梨県では、テストベッドの聖地化を目指して山梨県全域を対象にした最先端技術やサービスの社会実証プロジェクトを募集します。実証エリアを問わず、最終的な社会実装に向けて自治体職員が全面的にサポートします!

山梨県の サポート内容

山梨県全域を
対象にした
実証フィールド
の調整等

専門家による
アドバイス

最大750万円の
経費支援
(補助率3/4)

※その他、プロジェクトのPRや県内でのワークスペースの確保等採択企業に必要な全ての支援を行います。

<第1期> 21年9月～22年2月
応募：43件 採択：**8件**

<第2期> 22年4月～22年9月
応募：37件 採択：**6件**

<第3期> 22年9月～23年2月
応募：44件 採択：**7件**

<第4期> 23年4月～23年9月
応募：56件 採択：**7件**
※10/11成果発表会

<第5期> 23年9月～24年2月
応募：42件 採択：**7件**
※支援中

《第1期採択企業》

【R3年度第1期採択事業者とテーマ・実証内容について】

8件採択（応募43件）

（五十音順）

企業名	実証実験概要
株式会社エアロネクスト	過疎地の課題解決を目指す新スマート物流「SkyHub」
	過疎地の物流インフラ維持と脱炭素社会実現に向け、小菅村周辺において、物流各社と連携した共同配送、バス会社と連携した貨客混載、ドローンを活用した物流の実証を行う。
エーテンラボ株式会社	ピアサポートテクノロジーを活用した糖尿病改善
	県民の健康増進、QOLの向上、医療費の適正化に向け、県内医療機関との連携の下、ピアサポートテクノロジーを活用したアプリによる糖尿病改善の実証を行う。
株式会社おてつたび	「おてつたび」を活用した山梨県ファンネットワーク創出
	人手不足に悩む地域事業者と、地域に興味がある若者をマッチングするプラットフォーム「おてつたび」を活用し、仕事を通じて関係人口を創出する仕組みの実証を行う。
株式会社Smart119	次世代救急情報システム「Smart119」による救急搬送の効率化
	救急搬送関連課題の解決に向け、IT・AI技術によるシステムを活用することで、医療機関、消防本部、救急隊の間で迅速・適正に情報を共有し、救急搬送を効率化する実証を行う。
トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	DFreeを活用した排尿自立指導料取得モデルの構築
	県内医療機関において排泄予測デバイスを活用した排尿自立支援加算、外来排尿自立指導料の取得モデルを構築する。
vivola株式会社	不妊治療環境改善プロジェクト
	不妊治療における早期受診のための啓発、治療環境のサポート体制の効果検証を行う。

《第2期採択企業》

【採択事業者とテーマ・実証内容】


(五十音順)

企業名	実証実験概要
AssistMotion株式会社	歩行補助ロボットによる次世代パーソナルモビリティで高齢者の生活支援を！
	歩行補助ロボットcuraraを用いて、新しいパーソナルモビリティを提案するとともに、高齢者の移動に関する問題を解決する。
株式会社アドダイス	感染症対策／未病対策AI見守りテンプレート実証実験
	リストバンド型のウェアラブル端末「ResQ Band」により日常のバイタル測定し、関係者と共有するAI見守りテンプレートの実証を行う。
株式会社A. L. I. Technologies	ドローン物流プラットフォーム 空のインフラ構築プロジェクトin北杜市
	無人航空機が離発着できる拠点を整備する共に、ドローン航空管制システムを活用した管理体制を構築する。
株式会社エジソンエーアイ	レジレス店舗ソリューション
	実店舗にカメラやセンサを設置し、買い物客を入店から退店まで追うことで、レジ清算せずに退店するだけで決済できるシステムの実証を行う。
プラスマン合同会社	AI肺がんCT検診による医師、患者、行政、三方良しプロジェクト
	肺がんCT検診データを用いて、肺結節表示AIによる読影結果と医師による読影結果の精度比較を行い、AIが一次読影を担えることを実証する。
U3イノベーションズ合同会社	オフグリッド住環境の実現に向けた最適設備運用モデルの構築
	オフグリッドで電気や水などのライフラインを提供できるサービスの実現に向けて、必要なインフラ設備の最適運用のためのモデルを構築する。

《第3期採択企業》

【採択事業者とテーマ・実証内容】

(五十音順)

企業名	実証実験概要
アイリス株式会社	咽頭画像診断の有用性検証プロジェクト
	インフルエンザ感染症の診断に用いることができるAI搭載システムnodoca®の実証運用を行い、外来受診者、医療従事者の感染リスク低減効果の検証を行う。
インフィック株式会社	ポータブルエコーを活用した、見守りシステムとの連携を介して実現する排泄業務DXプロジェクト
	介護5大業務とされる直接業務のうち、負担の大きい排泄業務について、高齢者の自立支援につながる長期的な排泄業務DXを実現する。
株式会社キッチハイク	「保育園留学」を活用した地域と域外をつなぐ関係人口経済圏の創出
	地域と子育て家族をつなぎ未来をつくるワーケーションプログラム「保育園留学」のインフラ整備・実証を通し、関係人口経済圏の創出へ繋げる。
株式会社コピー	製造業の生産性向上を実現する画像解析AIを用いた作業工程解析ソフトウェアの開発
	画像解析AIを用いたソフトウェアにて製造業向けに生産性を向上するプロダクトを提供する。
株式会社テラ・ラボ	航空リモートセンシング等を活用し、大規模災害発生時における災害対策DXの社会実装に向けた実証実験
	大規模災害発生時において、航空リモートセンシング等を活用し、初動体制の意思決定等に役立つ共通状況図を作成・共有化するための社会実装モデルの構築を行う。
ファストドクター株式会社	オンライン救急サポート
	夜間休日などの時間外において、都市圏の潤沢な医療資源を活用し地域医療体制の補完を行うことで、地域医療の負担軽減と住民の満足度向上を実現する。
株式会社ヘッジホッグ・メドテック	頭痛による生産性低下の可視化と、疾患啓発及び医療機関との連携の実証
	企業等の頭痛患者を特定し、医療機関への受診勧奨、データ連携までを行い企業の生産性向上を実現するための実証を行う。

《第4期採択企業》

【採択事業者とテーマ・実証内容】

(五十音順)

企業名	実証実験概要
iSurgery株式会社	AI医療機器を活用した骨粗鬆症治療介入率向上プロジェクト
	「胸部X線写真から骨粗鬆症を検査するAI医療機器」を健診施設の一般健診メニューへ組み込むことで、骨粗鬆症患者の効率的な発見に資する。
エアロダイナミクス株式会社	ドローン目視外飛行に向けた上空LTEマップ作成事業
	上空LTE状況を可視化し、「推奨飛行ルート」を効率的に作成するとともに、ドローン運航管理システムを通じてルートを提供する。
輝翠TECH株式会社	山梨ぶどう農家さん向け農業用AIロボット
	ぶどう農家における農業用AIロボットの機能と有用性を検証する。
テラスマイル株式会社	果樹大園・山梨で取り組む経営管理クラウドサービスの実装による地域農業革新～RightARMであらゆるデータを農業経営の力に～
	高収益で持続可能な農業経営モデルの実現を目指し、果樹版RightARMを実装する。
株式会社PREVENT	自治体保健事業のインパクト評価ならびに医療データ解析によるEBPMの推進支援
	自治体の健康施策および保健事業の医療費適正化に対するインパクト評価ツールの実証を行い、健康計画や保健事業の設計に対する有効性を検証する。
株式会社マリス creative design	視覚障がい者の単独歩行支援システム「seeker」の開発
	視覚障がい者、高齢者が気軽に外出できる社会を実現するため、歩行アシスト機器「seeker」の機能と有用性を検証する。
ユナイテッドシルク株式会社	山梨版ハイブリッド養蚕～伝統と革新の融合～
	伝統的な養蚕技術と革新的な養蚕技術を掛け合わせた次世代の養蚕モデルを確立し、従来の繊維用途以外に展開するための原料加工、製品開発を行う。

《第5期採択企業》

【採択事業者とテーマ・実証内容】

(五十音順)

企業名	実証実験概要
アイラト株式会社	定位放射線治療（ピンポイント照射）用治療計画支援サービスの開発
	放射線治療の中で最も難易度の高い肺癌の定位放射線治療AIモデルの開発および実用化検証を行い、世界的に利用される肺癌定位放射線治療計画AIのYAMANASHI modelの開発を目指す。
株式会社AGRI SMILE	やまなし農業における脱炭素地域づくり活動
	真の「地産地消」を目指し、①山梨県地域の「ぶどう残渣」のバイオスティミュラント(※)の資材開発と、②ECサイトでの「環境保全型の高付加価値な農作物」の需要を検証する。 (※) 食物残渣などから開発される農業資材で、高温障害対策・栄養吸収効率化等の効果を示し、化学肥料の低減を実現するもの。
株式会社エニキャリ	配達依頼マッチングアプリを活用した買い物代行の実現
	地域住民を配達員とする配達依頼マッチングサービスで買い物代行を実現し、お買い物困難者の手助けを実現する。
株式会社ZIAI	悩みを抱える市民を誰一人として見捨てない街へ
	AI悩みチャット相談窓口を開放して山梨県民の悩みに対応するとともに、悩みデータを収集・分析し、山梨県の実態にあったコーディネーションを設計する。
株式会社森未来	森林データプラットフォームサービス
	森林経営計画の情報から森林のデータベースを構築し、立木情報、伐採情報を川下のゼネコン・建築家と共有し、無駄なく木材を使用するプラットフォームの有用性を検証する。
スカイファーム株式会社	街の活性化 プラットフォーム構築プロジェクト
	商業施設を中心に培ってきたエリアマネジメント施策を街全体をフィールドとして、①空き店舗・既存店舗を活用したOMOポップアップストア、②宿泊施設を拠点とした街の食文化プロジェクトを実施し、地域活性化に活用できるかを検証する。
株式会社Lily MedTech	乳がん用画像診断装置と診断支援AIによる乳がんの発見率向上プロジェクト
	乳がん検診における既存の画像診断装置に対して、新たに開発したリングエコー画像診断装置と診断支援AIの乳がんの発見率及び補助的指標の比較を行う。

「テストベッドの聖地やまなし」のブランドイメージ確立 未来に向けて新たなチャレンジを行う「イノベーション関係人口」の拡大

日本経済新聞

記事利用について

スタートアップが集う山梨、社会実装実験で成果相次ぐ

News 潜望展望

2023/4/25 5:00 | 日本経済新聞 電子版



A.L.I.テクノロジーズは山梨県内で空飛ぶバイクを開発・製造している（1月、山中湖での水上飛行試験）=同社提供

山梨県が先進的な技術・サービスの社会実装の実験場としてスタートアップから注目されている。県が2021年度に始めた支援策が実績を生み、実証実験の継続や事業化の動きが相次ぐ。地元の市町村や医療機関などの協力を取り付け、伴走支援する県職員の手厚い支援が先進企業と山梨との結びつきを強めている。

米ナスダック市場に米国法人が上場したA.L.I.テクノロジーズ（東京・港）は、県内でドローンの実証実験や空飛ぶバイクの開発・製造を進めている。小菅村でドローン配送の事業モデルを確立したエアロネクスト（東京・渋谷）は、今では全国各地に配送事業を展開している。

両社は県の「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」を活用し、山梨の地を成長の足がかりにした。他にも同事業をきっかけにエーテラボ（東京・中央）は山梨大学医学部と糖尿病改善の共同研究を続け、U3イノベーションズ（東京・港）は北杜市で電気と水を自給できるオフグリッドキャンプ場を長野県松本市の企業と共同でオープンするなど多くの実績がでている。

STARTUPS

Foothills of Mount Fuji emerge as proving grounds for startups

Japan's Yamanashi prefecture lavishes support on forward-thinking ventures

TAKAYUKI MATSUNAGA, Nikkei staff writer

April 29, 2023 22:55 JST

KOFU, Japan -- Japan's Yamanashi prefecture, home to Mount Fuji and picturesque lakes, is transforming into a test bed for startups, drawing interest from dozens of companies around the country.

過去の採択企業の声



全国展開の礎

サポート頂いた小菅村での実証実験により、ドローン配送と陸送を連携し、地域課題を解決する新たな物流インフラ「新スマート物流SkyHub®」が事業の検証を経て実装まで移行でき、全国展開の礎となりました。

実証期間終了後も変わらず山梨県の担当の方に伴走頂いています。

株式会社エアロネクスト
コミュニティマネージャー 近藤 建斗 様



山梨県発の新しいインフラビジネス創出への道筋

山梨県からはプロモーション、県内事業者とのマッチング、事業化に向けた実務検討と、幅広いご支援をいただきました。

半年の実証期間でありながら、多数のメディア掲載、具体的な商用案件の引き合いも得て、山梨県発の新しいインフラビジネス創出の道筋ができました。

U3イノベーションズ合同会社
ディレクター 川島 社史 様



実証実験として最高のセッティング

刻々と変わる状況にも柔軟かつ親身に伴走いただき、最高の実証実験を組ませていただくことができました。新しいものに協力的でサポートティブな山梨の地で試行錯誤し、全国展開に必要な知見をいち早く蓄積できたことは、何物にも代えがたい経験でした。今回賜ったご縁で、山梨の先生方とは次の共同研究も計画いたしております。

アイリス株式会社
主任研究員 堀 孝哉 様



→ 県内市町村をはじめ、民間企業や医療機関との関係構築

「テストベッドの聖地やまなし」のブランドイメージ確立

未来に向けて新たなチャレンジを行う「イノベーション関係人口」の拡大

2023.11.9 YAMANASHI INNOVATION NIGHT

@CIC Tokyo(虎ノ門ヒルズビジネスタワー)



プログラム

16:00-16:30	YAMANASHI INNOVATION NIGHTの楽しみ方	
16:35-16:50	山梨県のスタートアップ支援施策の紹介	
16:55-17:35	YRY!YAMANASHI! 採択企業と語る山梨から始まる事業成長	
17:40-17:45	山梨県知事によるウェルカムスピーチ・写真撮影	
17:50-18:40	スペシャルセッション「迷ったときはどっちが正しいかで決めちゃダメ！どっちが楽しいかで決めなさい」 ～eスポーツのファーストペンギンの東証マザーズへの道のり～	
18:45-19:25	山梨から考える新たなモビリティ社会	Mt.Fujiイノベーションキャンプ10年の歩みとこれから
19:30-20:10	地域発スタートアップによる社会的インパクトの創出	VUCA時代の人材育成とは
20:15-20:55	山梨SAKEイノベーション	

→ 日本最大級のイノベーション拠点にて
現地234名/オンライン104名
計334名との新たな関係構築

「テストベッドの聖地やまなし」のブランドイメージ確立 山梨発の社会課題解決プロジェクト＝「社会的インパクト」の創出

特別広告企画 企業誘致特集



配送拠点である「ドローンデポ」から飛び立つドローンは、小菅村の各集落に設置された「ドローンスタンド」に着陸。注文した住民が品物を受け取りにやってくる。購買データに基づくニーズに合わせて、「ドローンデポ」では日用品や食料品など約300アイテムをストック。オンデマンド配送サービス専用のダークストアとしても機能する。



物流に特化したドローンを製造している企業は世界でも数社しかない。エアロネクストの機体は、撮影などに使用される従来機の流用では難しい「荷物を傾けずに運ぶ」ことを可能にした。

人口の著しい減少で地域社会の活力が低下し、生活環境などの整備が他地域と比較して行き届いていない。総務省によると、過疎地域指定の市町村は全国全体の半数を超える885に上るといふ。ラストワンマイル問題が度々クローズアップされるなか、「物流」における効果的なソリューションが待望される現在。山梨県・小菅村の「空」を舞台に、一足先に「未来の物流」が実現しつつある。

「いつから始まるの?」「どんなサービスが受けられるの?」。実証実験に関する説明会を開いたところ、集まった小菅村の住民たちからは口々に期待感にじまされる言葉があふれたという。「初めて訪れた時に、われわれの事業を受け入れていただけると確信しました」と振り返るのは、エアロネクストの田路圭輔代表だ。

独自開発の重心制御技術「4D GRAY」を搭載した国内初の物流専用ドローンを強みとする同社は、

既存の輸送手段とドローン物流を組み合わせた「新スマート物流サービス」の確立を目指す。社会実装へ向け、大きく前進することになったきっかけが、小菅村で推進中の実証実験だ。人口約700人、高齢化率46%、2020年4月現在、総面積の95%を森林が占め、高低差に富む地形に8つの集落がある。村内で入手できるモノに限られているため、日用品や食料品、医薬品などを求めて、隣接する大月市への往復を重ねる住民も珍しくない。

**事業がどう成長するのか
イメージがより明確に**

こうした環境下で、エアロネクストとセイノールホールディングスが共同で取り組む新スマート物流プロジェクト「SkyHub」が始まった。ラストワンマイルの起点となる「ドローンデポ」と呼ばれる拠点を設置し、小菅村に運ばれたモノを集約。ここからドローン、クルマなど、配送先に適した

手段で住民へ届けられる。サービスはすでに有償化のフェーズへ移行し、アプリで日用品などを注文できるオンデマンド配送、買い物代行、配達代行を実施。また、山梨県のバックアップを得て、周辺の丹波山村や大月市を配達エリアとする物流会社、公共交通機関と連携した共同配送、貨客混載の取り組みの実現も視野に入っている。

小菅村の人々にとって、ドローンが飛行する姿は「日常風景」となった。過疎地域が直面する課題を乗り越えたいという熱意にあふれた村長や、頑張ってとて声を掛けてくださった住民の方々、新たなサービスを立ち上げるのに最も大切なのは、地域とのつながりなのだと思われました。「前原泰

4(有人地帯における目視外飛行)解禁が近づくと、いよいよ市場の確立に向けた動きが本格化。SkyHubの成果を視察したいと希望する各所からの問い合わせも急増している。

実証実験を経て、山梨県内での展開。さらには全国展開も明確にイメージできたという田路代表も、「どんなに優れた技術を持っていても、それをどう活用できるのか、どんな市場を見いだせるのかを検証できなければ、産業として成長しません。小菅村の皆さんの協力なくして、ここまでの事業の進展は望めなかったと思います」

物流課題をドローンで解決! 小菅村の空に描かれた可能性

未来をつくる実証実験 ①

株式会社エアロネクスト(東京都渋谷区)

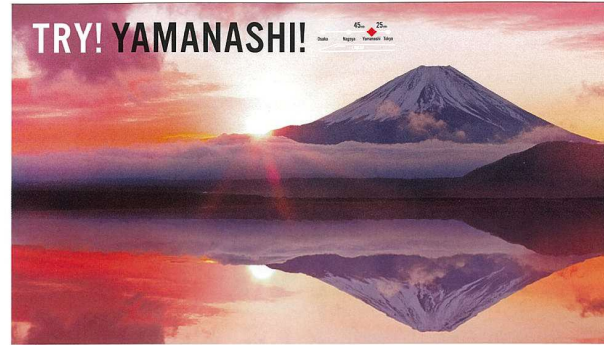
**テストベッドの土壌があり
進取の気性に富んだ山梨県**

山梨県といえば、富士山をはじめとする豊富な自然環境や観光資源に恵まれた場所。あるいは長い日照時間や少ない降水量、大きな寒暖差といった気候特性を生かした果樹王国というイメージを持つ人が多いだろう。

一方で、江戸時代には東西の要衝として、歌舞伎の新作の試演が行われるなど、いわば実証実験の舞台になっていた。また、明治時代には、銀行の貯蓄預金というスキームを日本で初めて生み出し、甲州財閥を存続した地でもある。

1989年には、リニア実験線を誘

山梨は、挑戦と近い。未来と近い。近い将来、リニア中央新幹線が開業することにより、アクゼス面の飛躍的な向上が見込まれる山梨県。2020年3月には「リニアやまなしビジョン」を策定するなど、開業後を見据えた取り組みが着々と進行中だ。その一環として力を入れているのが、多くのスタートアップなどの最先端企業を山梨に呼び込むための「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポーター事業」。同事業に採択された企業の生の声なども参考にしながら、「テストベッド」としての山梨の価値について考えてみる。



日本列島のほぼ中心に位置するという地の利を生かし、古くからの実証実験の舞台とも技術大国日本の発展を支えてきた山梨県。リニア中央新幹線の開業後を見据え、県内全域をテストベッド化する取り組みが加速中だ。

近い将来、リニア中央新幹線(開業)名富野が開業すると、東京からの所要時間は現在の1.5〜2時間が約25分に、名古屋からの所要時間は同3〜4時間が約45分にそれぞれ短縮される。

**「リニアやまなしビジョン」の下の
実証実験サポーター事業がスタート**

致し、世界最先端の超電導リニア技術のテストベッドとして、日本が誇る革新的な技術開発に貢献。現在では、山梨大学をはじめとした水素・燃料電池に関する世界トップレベルの研究開発拠点が集積しており、再生可能エネルギーから水素の製造、貯蔵、利用に関する実証実験も行われている。

見込み。このインパクトを最大限に取込み、県内経済の活性化につなげていくべく、20年3月に「リニアやまなしビジョン」が策定され、地域特性を生かし、県全域をテストベッドのフィールドとする方針が打ち出された。

同ビジョンの実現に向けた施策の中で、全国の企業から特に熱い視線を注がれているのが山梨での実証実験の運用や費用、関係各所との連携、技術面などを県が全面的に支援する「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポーター事業」。21年度にスタートした同事業の第1期には、全国から43件の応募があった。その中から採択された8件のプロジェクトは、すでに同地で着実に進行している。

次のページからは実際に同事業に採択された2社のインタビュー記事を紹介。両社が実証実験の舞台に山梨を選んだ理由や、テストベッドとしての山梨の価値、県の厚手厚脚サポーターの愛情などについて詳しくひとこと書いていく。

山梨県

2つの事例から読み解く「テストベッド」としての価値

未来に挑戦する企業に 山梨県が選ばれる理由とは



施策の目的：スタートアップの創出、県外からの誘致、定着の推進

アイデア 検討	ビジネスコンテスト	中高生の“起業家精神”の修得、起業志望者の事業計画作成やマッチング等を支援するためのビジネスコンテストを、起業支援団体等と連携して実施
新 起業志望者の 勧誘	革新的スタートアップ・プロ モート事業	本県における起業を創出するため、起業を志す優秀な学生や社会人が集まる渋谷の共創拠点「QWS」で、起業支援団体や起業家が勧誘活動を行う
起業の支援	地域課題解決型起業支援金	地域課題解決のためのビジネスプランで起業する者に、支援金（最大200万円）を交付するほか、起業支援の専門家が事業の立ち上げにかかる伴走支援を行う
新 事業展開	革新的スタートアップとの共 創促進事業	多くのスタートアップが参加する民間事業者のプラットフォームを活用したオープンイノベーションプログラムを実施し、県内企業とスタートアップとの共創支援
新 資金調達	資金調達サポート事業	認定VC等が投資したスタートアップに、新株予約権と引き換えに県から投資するとともに、VCとの連携を構築しリスクマネーの流入を促す
実証実験	リニア実証実験サポート事業	本県をフィールドに行う実証実験をフルサポート（リニア局）。補助金額最大750万円、補助率3/4。
成長加速	アクセラレーションプログラ ム事業	専属のメンターによる伴走支援により、事業成長の加速化を支援するとともに、県が仲介して県内企業とのマッチングを支援し、県内での事業定着を図る
新 支援拠点	スタートアップ支援拠点の整 備	スタートアップの誘致・定着、創出を促進するため、スタートアップの事業拡大と県内企業とのイノベーションを支援する拠点を整備（R7年共用開始予定）

- ・ **アイデア検討から、起業、事業拡大まで、切れ目ない支援**
- ・ **スタートアップの成長に欠かせない資金調達の支援ため、県が直接出資（全国初）**
- ・ **スタートアップが集まる拠点を整備し、県内企業とのオープンイノベーションを支援**



未来創造インフォ



山梨は、 挑戦と近い。 未来と近い。

TRY! YAMANASHI!



テストベッドに。 二拠点居住に。

都心から1時間半。
山梨では、新しい挑戦が
つぎつぎと生まれています。
将来のビジョンを形にするテストベッドとして、
自分らしい生き方を実現する
拠点のひとつとして。
近い将来、リニアで都心から25分、
名古屋から45分に。
この近さは、挑戦への近さ、
そして未来への近さでもあります。
挑戦の詳細はTRY! YAMANASHI!
特設サイトで。



https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/special/